

今年5月から●●●

当番制で

ゴミをチェック

(浜改田中ノ丁)



朝6時から7時までの1時間、当番制で、持って来た不燃物に他のゴミが混入していないかをチェックする

「おはようございます。お世話になります」と、さわやかなあいさつで、ゴミを持って来る人たち。浜改田中ノ丁地区では、不燃物のゴミの収集日に、当番制で集積場所に立ち、正しく分別されているかをチェックしています。

今年の四月、市の環境保健課から、ゴミの分別徹底の依頼があり、早速、地区の総会を開いたところ、「みんなが協力してやっていこう」ということになりました。

そして五月から、月三回の金属類と金属類以外の不燃物の収集日に、朝六時～七時まで当番制で二

人が待機。衛生委員さんと、地区長さんも加わり、持って来たゴミ袋を開け、金属類とビン類が混入していないかを、厳しく検査します。ビンのキャップなどの金属類は取りはずし、新しく荷造りを済ませて完了。

出せる時間が朝六時から七時までの一時間というところで、眠い眼をこすりながらやって来る人もいますが、みんなが「お世話になります」とさわやかです。

また、この時間は地区の触れ合いの場にもなっています。○○さんの孫が生まれたとか、楽しく話

これは、商店と消費者のつながりを深め商工発展にと、始められたもの。

市の特産品などを集めた「第九回南園市観光物産まつり」（市商工会主催）が十一月四日、五日、の両日、市民体育館で開かれ、多くの市民でにぎわいました。

“観光物産まつり” 多くの市民でにぎわう

威勢のよい維新大鼓でオープン。会場には、市内五十四業者が出店し、打ち刃物、サングラス、木竹細工などの工芸品から、新鮮な野菜や果物、海産物なども豊富に並べられました。このほか、米消費拡大推進連絡協議会が、タケノコずしとコンニャクずしの試食コーナーを、土曜市がオモチの実演販売など催しも盛りだくさん。また、新しくできた「南園市の観光」ビデオも上映。

一方、舞台では、地元の婦



多くの買物客でにぎわった物産まつり

がはずむ中で、地区のつながりも深まっています。

地区の声には「自分が当番になると、分ける苦勞もわかり、きちんと出すようになりました」「前日に、嫁と孫もいっしょになって、ゴミの仕分けをしています」など、みんなが協力、分別徹底の効果も上がっています。

地区長の土居菜さんは「相気あいいいにやっています。これからは寒くなりますが、地区のみんなの協力ですつと続けていきたい」と話していました。

人が踊りを披露し、訪れた買い物客も足を止め、楽しんでいました。